

『あしたのジョー』

©高森朝雄・ちばてつや/講談社

和紙でつなぐ 時を超えた想い

『漫画正倉院』展

令和5年4月29日(土)～6月26日(月)毎週火曜休館

出展作品

作家名	出展作品
ちばてつや	『あしたのジョー』(原作:高森朝雄)
安彦良和	『ナムジ』『ヤマトタケル』
村上もとか	『幕末の女(美人画)』
ヤマザキマリ	『テルマエ・ロマエ』
上田トシコ	『ファイチンさん』複製原画のみ

越前和紙の里 紙の文化博物館

〒915-0232 福井県越前市新在家町11-12

問合せ先:0778-42-0016

開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料:300円(15名以上の団体:200円)

高校生以下は無料

障がい者手帳をお持ちの方は150円

※本展を観覧するための特別料金はありません。

主催:『和紙と漫画』の文化と保存を考える会



～巨匠直筆の一枚絵と複製原画～

漫画界を代表する巨匠たちが、越前和紙（雁皮紙）に墨で書き下ろした作品を展示いたします。

また、それらの貴重な一枚絵や原画を富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株) 京都支社による最新技術で複製しました。実物と比較しながらご覧いただけます。

越前和紙には約1,500年の歴史があり、古いものでは約1,300年前の古文書が奈良の正倉院に現存しています。その古文書が証明する優れた耐久性に着目し、和紙と漫画という二つの文化を結び、双方の価値を高める新しい試みです。本展はこれらの作品を1,000年後の人々へと繋ぐ、壮大な実験のはじまりであり、和紙文化と漫画文化のいつそうの発展を願うものです。

ちばてつや

1939年、東京に生まれ、旧満州（中国東北部）に育つ。高校在学中の56年、貸本漫画でデビュー。その後「ユキの太陽」などを発表。62年「少女クラブ」に連載した「1・2・3と4・5・ロク」（62年、第3回講談社児童まんが賞）で高い評価を得る。以後「紫電改のタカ」「ハリスの旋風」がヒット。68年から連載の「あしたのジョー」（高森朝雄・作）は若者たちに熱狂的に支持される。2018年から日本漫画家協会会長を務め、22年に日本芸術院の新会員に選ばれる。

安彦良和（やすひこよしかず）

1947年、北海道に生まれる。アニメーターとして虫プロに参加。79年、アニメ「機動戦士ガンダム」のキャラクターデザインなどを務める一方「リュウ」や「アリオン」を発表し漫画家デビュー。90年「虹色のトロツキー」、「ナムジ」第19回日本漫画家協会賞を受賞。01年、漫画「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」の連載を開始。神戸芸術工科大学先端芸術学部教授に就任。

村上もとか

1951年、東京都に生まれる。72年「週刊少年ジャンプ」に「燃えて走れ！」を発表し、漫画家デビュー。青年ものの代表作「龍-RON-」はNHKでテレビドラマ化もされる。96年、第41回小学館漫画賞を受賞。98年、第2回文化庁メディア芸術祭賞を受賞。その他漫画作品に「クライマー 岳人列伝」（82年、第6回講談社漫画賞）、「赤いペガサス」「熱風の虎」「JIN-仁-」などがある。

ヤマザキマリ

1967年、東京都に生まれる。84年17歳で絵を学ぶためにイタリアへ渡る。2006年より「月刊コミックビーム」に古代ローマ人の建築家が時空を超えて現代日本の浴場を訪れるという異色漫画「テルマエ・ロマエ」を連載。10年、同作でマンガ大賞、手塚治虫文化賞短篇賞を受賞。12年、同作品映画化、上半期興行収入1位に。その他著者に「モーレッツ！イタリア家族」「ルミとマヤとその周辺」「スティーブ・ジョブズ」など。

〈複製原画のみ展示〉

上田トシコ

1917年-2008年。東京生まれ、「満州」に育つ。17歳で松本かつちに師事し、抒情画やマンガを学ぶ。デビューは「少女ロマンス」に描いた挿絵。37年には「少女画報」（新泉社）に「かむろさん」を連載。51年の「少女ブック」（集英社）創刊号から連載された「ボクちゃん」で注目される。少女クラブ（講談社）にて、旧満州を舞台とした「フィチンさん」を連載。

難民支援について

本展の会場にはプロジェクトに賛同いただいた漫画家から平和への願いとして募金箱を設置しています。人々がマンガを楽しむには平和でなければなりません。賛同者のお一人、ちばてつや先生は、終戦直後満州から引き揚げる際、賊の恐怖や飢饉と闘いながら、命からがら帰国した経験をお持ちです。本展で展示した雁皮紙に描かれた墨の一枚絵には、漫画家たちと和紙文化を守る越前市の製紙業界による“恒久平和への願い”が込められています。寄付金はUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）を通じて紛争や災害に苦しんでいる世界の難民に届けられます。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



電車

JR大阪駅～武生駅（特急2時間）
JR名古屋駅～武生駅（特急2時間）
JR金沢駅～武生駅（特急1時間）

JR武生駅下車後、タクシーで20分
福鉄バス南越線または池田線で、30分 和紙の里下車 徒歩3分
駐車場／乗用車約60台、バス駐車場5台完備

自動車

米原JCT～武生I.C（北陸自動車道1時間）
武生I.Cより10分

資料3

最新の空間エレメントが集結する

BAMBOO EXPO 19

TRADESHOW OF INTERIOR MATERIAL

2023年 5月17日(水) / 18日(木)



① ブース出展

→越前市観光協会として出展し、来場されるデザイナーや建築家に対して、「越前和紙」「越前」の認知・認識の拡大を目指す



(画像はBAMBOO EXPO 18の様子)

② トークショー（越前和紙の話題）

テーマ：商空間で生まれ変わる日本の伝統的マテリアル（仮）

登壇者：小坂竜さん（乃村工藝社A.N.D.）

笈川誠さん（BAMBOO EXPO 主宰）等

→登壇者を招いて、4/10（月）～11（火）に行った越前和紙産地視察で感じたことなどをもとに、来場者に対しトークショーを実施。効果的なPRを目指す。



(画像はBAMBOO EXPO 18の様子)

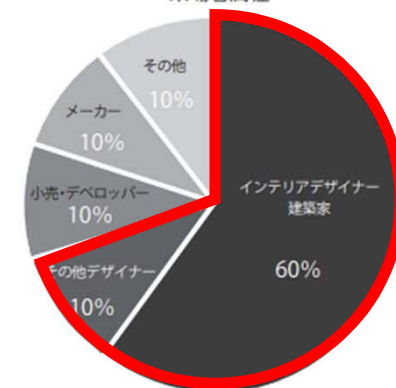
開催概要

開催日時	2023年 5月17日(水) / 18日(木) 11:00~20:00
会場	東京都立産業貿易センター浜松町館 2F展示ホール（東京都港区海岸1-7-1）
搬入出スケジュール	搬入/5月16日(火) 搬出/5月19日(金)
入場	無料(要・事前登録)
出展企業	約60社
想定来場者	インテリアデザイナー、建築家、デベロッパー、ホテル関係者、百貨店・SC関係者、リテイラー他
WEBサイト	https://bamboo-expo.jp/
主催	BAMBOO MEDIA Co. Ltd.
運営	BAMBOO EXPO 運営事務局(株式会社SPCコンシューママーケティング内)
連絡先	info@bamboo-expo.jp / (03)6403-0753 (BAMBOO EXPO運営事務局)

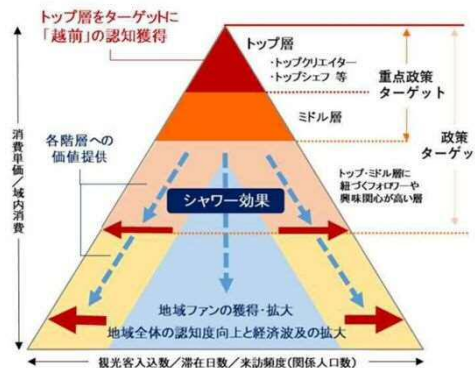
これまでの開催データ

第15回	2021年5月25日/26日 @産貿センター浜松町館	出展社数 47社	来場者数 1,439名
第16回	2021年11月25日/26日 @同上	出展社数 53社	来場者数 2,319名
第17回	2022年5月25日/26日 @同上	出展社数 51社	来場者数 2,591名
第18回	2022年11月29日/30日 @同上	出展社数 52社	来場者数 2,351名

来場者属性



BAMBOO EXPO来場者の約70%が「デザイナー」や「建築家」



観光振興プランで定めたターゲット
トップ層やミドル層となる方

「越前和紙」「越前」の
認知・認識拡大を目指す

令和5年度越前市武生公会堂記念館企画展



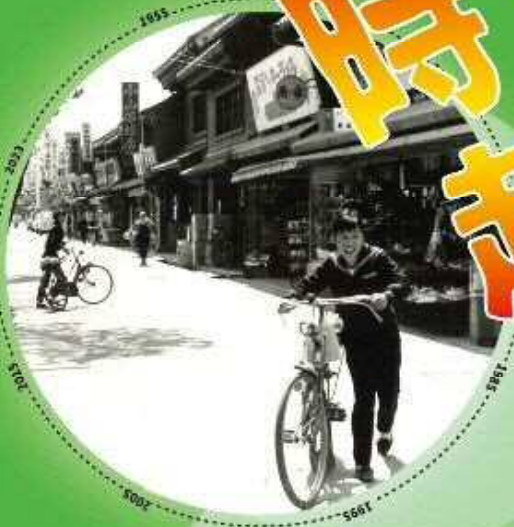
写真：越前街道「から西の方向」(令和5年) 当館蔵



写真：越前街道「から西の方向」(昭和11年) 当館蔵

時空を超えて

木水育男と子どもたちの絵



2023
4.21・6.11

金

日

◆開館時間／午前10時～午後6時

(最終入館は午後5時30分)

◆休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日) 祝日の翌日

◆入館料／無料

◎「菜摘の昔懐け」のお楽しみ／感染防止対策のご協力をお願いします。

休館不良時は菜摘を中止、入館時には検温と手指の消毒を行なってください。

後援：福井新聞社、NHK福井放送局、入館前には検温と手指の消毒を行なってください。

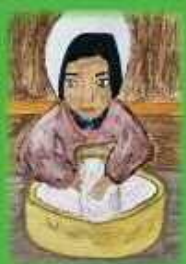
協力：土時空を架えて158年前の絵との対話実行委員会、福井大学



上記5作品：武生第二中学校児童画展(昭和30年代頃) 福井大学蔵



左起5作品：武生第二中学校坂口分校児童画展(昭和30年代頃) 福井大学蔵



飯櫃／当館蔵

笠織り用具／当館蔵



田舎えん／当館蔵



田舎えん(昭和30年代頃) 武生第二中学校蔵



越前市武生公会堂記念館

〒915-3074 福井県越前市福生町8-8 TEL 0778-21-3900



時空を超えて ～木水育男と子どもたちの絵～



木水育男
(1919～1997)
(大正8年～平成9年)

木水育男は、大正8年(1919)に生まれ、丹南地域を中心に美術教師として児童画の研究を続けた人物です。

木水は、子どもを解放し自由に表現させることを目指す創造美育運動の中心的なメンバーとして、当時の日本の美術教育をリードし、子どもに働く人々や生活の様子を生き生きと集中して描かせました。木水が指導した児童画は数々のコンクールで入賞し、彼の指導スタイルは全国的に広まりました。

本展では、木水が指導した高度経済成長期のまちの様子や、往時の生活や生業といった、くらしの様子が描かれた絵を中心に展示し、それを手掛かりに当時のまち並みや人々の生活が大きく変貌していく様子を紹介します。

関連イベント

■シンポジウム テーマ：木水育男指導児童画と愛ある教育

講師：鈴木弘之氏 (NPO 法人市民の芸術活動推進委員会 (CCAA) 理事長)
穴澤秀隆氏 (Another office 代表)
内山秀樹氏 (「時空を超えて」実行委員会委員長)
朝倉俊輔氏 (現代美術作家、木水育男顕彰会代表)

日時：4月23日(日)午後2時半～4時

場所：越前市生涯学習センターeホール

定員：100人程度(要申込)



おとなとこどものための対話型鑑賞会

講師：キリグ子ども美術館アートコミュニケーター

日時：4月23日(日)午後1時半～2時20分

場所：武生公会堂記念館 展示室2

(展示室2にお集まりください)

■ワークショップ

「和紙で遊ぼう！立体に挑戦」

講師：朝倉俊輔氏 (現代美術作家、木水育男顕彰会代表)
桑野泰成氏 (現代美術作家)

日時：5月27日(土)午後2時～3時半

場所：武生公会堂記念館1階

エントランスホール

定員：10人程度(要申込)

参加費：無料

1

■ワークショップ

「自由に大きな絵を描こう」

講師：松村典子氏 (画家)
井上真知子氏 (画家)
朝倉俊輔氏 (現代美術作家、木水育男顕彰会代表)

日時：6月10日(土)午後2時～3時半

場所：武生公会堂記念館1階

エントランスホール

定員：10人程度(要申込)

参加費：無料

2

シンポジウム・ワークショップ申込先

Tel 0778-21-3900

(越前市武生公会堂記念館)

【ミニ企画】

高度経済成長期の武生市政

高度経済成長期に行われた町用水の暗渠化工事など、当時の武生市政を振り返る。

場所：武生公会堂記念館 貴賓室



カラーテレビ (昭和52年製) 役人蔵



町用水の暗渠化工事写真 (昭和41年) 越前市蔵



【交通のご案内】

- JR 「武生 駅」より徒歩5分
- 福井鉄道「たけふ新駅」(旧越前武生駅)より徒歩8分
- 市民バスのろっさ 福井鉄道「たけふ新駅」(旧越前武生駅)前乗り場から市街地循環南ルート「武生公会堂記念館」下車 ※日曜運休
- 車 北陸自動車道「武生インター」より10分(駐車場有)

越前市武生公会堂記念館

F615-3074 福井県越前市蓮華町8-8 Tel.0778-21-3900

